

**【施策評価調査】**

施策名	1-1-2	宝積寺駅西第二土地区画整理事業		70	施策目的 政策1-1.計画的な市街地整備を実現するためには、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること、宝積寺駅周地区を整備し、利用性の向上を図ること、景観条例を制定し、良好な景観を形成すること、 ですが、そのうちこの施策については、の快適に暮らせるまちづくりのために、駅西第2地区の良好な住宅環境を形成する上で、関係者の意向を把握し、合意形成を図ることとします。
	担当部課	建設産業部都市整備課	担当 リーダー		
環境変化	宝積寺駅西第一土地区画整理事業の期間を3年間延伸し、平成23年度完成を目標に変更された。				施策内容 平成18年度に住民意向調査を実施し、住民ニーズを把握した上で、宝積寺駅西第二土地区画整理事業を進めます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：事業計画作成(%)	平成17年度進捗率	計画	30.0%	50.0%	70.0%	100.0%	
		実績	30.0%	50.0%	50.0%		
指標：移転件数	平成17年度未着手	計画					100.0%
		実績					
指標：事業計画着手	0.0%	計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	1,300,000	50,000	50,000	0	72,000
	決算	1,050,000	0	0		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか?(アウトカム)			
合意形成事業費	H21 現計	0	事業手法決定	宝積寺駅西第二地区について、まちづくりの事業手法を決定することで、計画的な市街地の整備が実施できる。	今後の方向性 (総合評価)	条件付継続
	H22 計画	72,000				
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性 (総合評価)	

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	快適に暮らせるまちづくりを実現するため、地権者の意向を最大限尊重したうえで事業手法を決定し、後期計画に整備方針、整備計画等を提示する。	
現状水準維持			
総合評価	総合評価		
	合意形成に向け、継続的に施策展開がされていると評価する。関係者全体でまちづくりの手法を十分協議、検討することはもちろんだが、今までの手法を検討した上で、合意形成に向け効率的な施策展開をしていくこと。また、合意形成後、後期計画でどう施策展開していくのか、財政状況を勘案した検討を行うこと。		